

# 「まちづくりからみた再構築」

---

岡村 敏之(東洋大学国際学部)

# 「まちづくり」の目標と実現プロセス

## まちづくりの大きな目標の例

持続可能な発展の実現  
(SDGsとも関連)

使いやすく安全で便利なだけでなく、  
人々が多様で任意的な活動をしたくなる、  
環境に配慮した「生活の質が高い」まち

「まち」や我々の「生活」が目指すべき姿 = **目標／ビジョン**  
の構築と共有

現象の存在 ⇒ 問題の認識 ⇒ 課題の設定 ⇒ 方策の立案と実行

## 例：大目標から導かれる「交通まちづくり」の目標

- 交通が使いやすく安全であること だけでなく
- 「生活の質の向上」を目指した公共交通と歩行者、自転車を重視した都市と交通空間の実現

交通の機能そのものの向上が、自己目的化してはならない

# 街(地域)のつくりかた、つくられかた

---

- まちづくりの観点では、「公共交通」と「徒歩、自転車」との親和性が高い。
  - 街は、出発地と目的地のみで構成されるわけではない。  
⇒「自宅の敷地から出るときはいつも自家用車」という街  
⇒来訪者から見れば「ラストワンマイル」だが、生活者にとっての「ファーストワンマイル」のモビリティがないがしろに。
  - 良い街とは何か：街や地域という空間が、人の活動の「場」として存在していること
  - 街なかに人が歩いていない街は、社会の自家用車依存が構造的に進行する
- 特にコロナ禍では、短期的な**対策**と、中長期的な**目標／ビジョン**と**方策**とで、方向性がバッティング